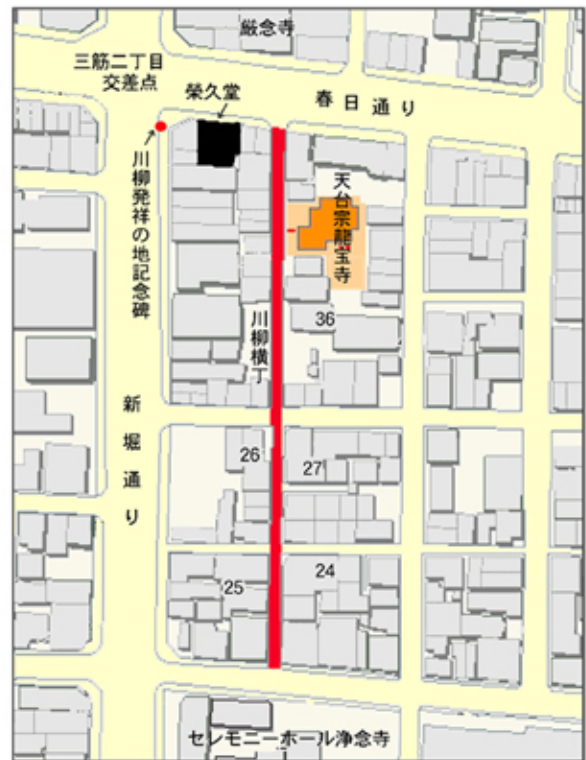


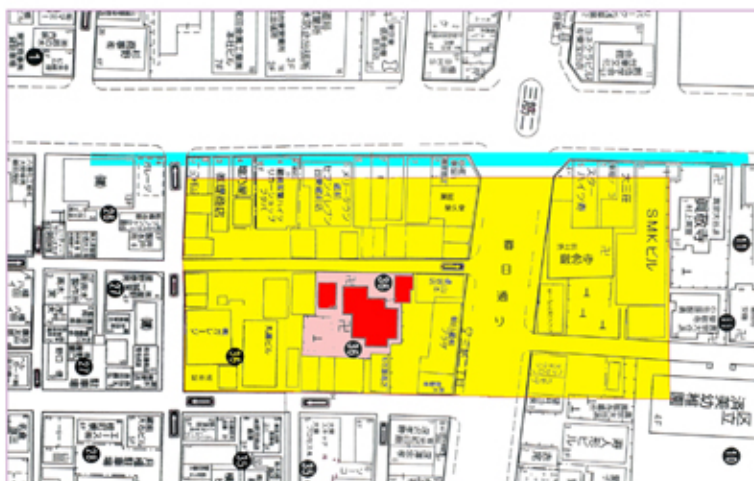
川柳横丁



2009年6月17日、台東区のわかりやすい町づくりの施策として「道路愛称名」が、区道12路線に付けられた。そのひとつ、蔵前4丁目36番地から同24番地の通りの愛称として「川柳横丁」が採用された。

初代川柳の菩提寺・天台宗龍宝寺の門の前を新堀通りと平行に走る通りである。

申請は、川柳250年事業において、「川柳発祥の地」記念碑建立にあたって応援してくれた地元・蔵前三桂町会会長。「柄井川柳にちなんで」というのが申請理由であったが、台東区をはじめ、地域社会に「川柳」の発祥地であるという誇りが広がっていることを感じる。



<旧龍宝寺の寺域>

ピンクの部分が現在の境内。黄色の部分が江戸期の門前町も含めた寺域。水色は、旧新堀川で、現在は暗渠になっている。

「川柳横丁」は、旧寺域のほぼ中央を東西に走る通りであるが、江戸期には、新堀端まで龍宝寺の参道が出ており、この道はなかった。